



2021年5月11日

各 位

会 社 名 東レ株式会社
代表者名 代表取締役社長 日 覺 昭 廣
(コード番号：3402)
問合せ先 広報室長 松村 俊紀
(TEL. 03-3245-5178)

当社子会社（蝶理株式会社）の個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社の連結子会社である蝶理株式会社（証券コード：8014・東証第一部）の2021年3月期個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、別紙の通りお知らせいたします。

なお、本件に伴う当社連結業績予想への影響は軽微です。

以 上



2021年5月11日

各 位

会社名 蝶理株式会社
代表者名 代表取締役社長 先濱 一夫
(コード: 8014 東証第1部)
問合せ先 経営管理部長 河村 泰孝
(TEL. 03-5781-6201)

2021年3月期通期個別実績値と前期実績値の差異に関するお知らせ

本日公表しました2021年3月期通期個別業績と前期実績値に差異が生じたので、お知らせします。

記

1. 2021年3月期通期個別実績と前期実績値との差異(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A) (2020年3月期)	百万円 147,665	百万円 5,317	百万円 6,442	百万円 4,658	円 銭 189.72
今期実績(B) (2021年3月期)	121,103	5,813	2,193	95	3.87
増減額(B-A)	△26,561	496	△4,248	△4,563	
増減率(%)		9.3	△66.0	△98.0	

(注) 当事業年度の期首から「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2018年3月30日公表分)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2018年3月30日公表分)を適用しております。このため当該基準等を適用する前の前事業年度の売上高に対する増減率は記載しておりません。

2. 差異の理由

売上高は収益認識会計基準等の適用による8,485百万円の減収影響に加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う世界的な経済活動の停滞により、前期実績を下回りました。利益面では、管理可能経費の削減を進めたことで本業の収益力が回復し、営業利益は前期実績を上回りました。

2021年3月期第4四半期の連結決算において、当社の連結子会社である澄蝶株式会社は、販売先である中国の澄星集団グループに対する売掛債権に対して貸倒引当金繰入額を追加計上しました。これを受け、澄蝶株式会社の財政状態が悪化したため、2021年3月期第4四半期の個別決算において同社への貸付金に対して5,114百万円の貸倒引当金繰入額を営業外費用に計上しました。この結果、経常利益及び当期純利益は前期実績を下回りました。本日公表の「2021年3月期通期業績予想と実績値の差異及び貸倒引当金繰入額の追加計上に関するお知らせ」を併せてご参照願います。

3. 連結業績に与える影響

上記2. に記載の当社の連結子会社である澄蝶株式会社に対する貸倒引当金繰入額は連結決算において消去されるため、これが連結損益に与える影響はありません。

以上